

「第22回まちづくり市民会議」議事要旨

○アドバイザー・事務局含め全41名中、31名参加

○以下で表記した条例草案（案）については、現在市民会議全委員で確認・議論をしているところであることから、現段階ではHP中での公表を行わない。

○以下、次第に即して記載

1. 開会挨拶（議長）

- ・本日、条例名称や最高規範性、都市内分権、住民投票といった項目について、前回から引き続き議論し、その結果を条例草案（案）へ反映し条例草案としていく流れで進めていきたい。
- ・また条例草案へ市民の方々の意見を反映させていくための意見交換の手法等についても議論していきたい。

2. 議事

（1）前回会議からの継続議論項目について

①各部会での議論・まとめ

各部会において、条例名称・最高規範性・都市内分権・住民投票等について、前回からの継続議論を行った。

②①を踏まえ各部会長より発表

⇒別紙「各部会発表内容」参照

③②を踏まえての意見交換

⇒特に無し

④議長総括

⇒ 別紙「各部会の発表内容」参照

本日の各部会のまとめについて、一つに絞り込んでいくといったことではなく、両論併記のかたちとし、市民意見広聴の場面で意見を伺っていく。

（2）市民意見の広聴について

事務局より標記実施内容（案）をたたき台として提示し、全委員で議論した。

【各委員からの意見等】

○委員

高齢者等で来場できない方への対応について、ICTを活用した手法等検討してはどうか？

⇒事務局)

基本的には会場を設けてそこに参加頂くことになるが、来場できない方向けに、例えば議会のユーストリーム上でのライブ放映等を参考に、手法を検討する必要。

○委員

事務局案の11地区(中学校区)の設定に関して、地区によってはあまり参加者がいなかったり、逆に多かったりと様々となることが想定される。地区設定は中学校区が適当なのか？

また、当日の説明のみにより、その後の意見交換で深い議論を行えるのか？

⇒事務局)

地区によって参加人数にばらつきがあるのは、過去の様々な経過より把握はしている。地域包括支援センター圏域を採用し開催地区を圧縮するのも一考だが、遠方に行かなければならない方が出てきたり、一方で小学校区を採用した場合は参加者が少ない場合が出てくるといったことが想定されるため、中をとって中学校区の家で提示したところ。

また、当日自治基本条例について説明していきなり深い議論をするのは難しいのは自明なので、闊達な議論となるよう、議論が停滞しないよう事務局として進行には配慮したい。

※6月1日号市政だよりに、ニュースレターとして自治基本条例や市民会議の取組、条例草案の概要について掲載したものを折り込む予定であり、そうしたものにより事前に把握頂くことを予定

○委員

6月1日号市政だよりに市民意見広聴を行う旨掲載するとのことだが、一方で5月中旬から先んじて市民意見広聴を行うのはどうなのか。市政だより掲載後の開始でいいのではないかな？

⇒事務局)

7月の市長への提案より逆算しての開始時期の設定としたが、指摘の事項も尤もなことでもあり、持ち帰り検討としたい。

○委員

時間帯を見ると(平日19時からの開催)、中学生・高校生といった若年層が参加しづらいのではないかな。幅広い世代から意見を聴くべきで、中高生の視点を市民会議の議論に反映させることは重要。学校への周知を図り参加を促すことを検討しては？

⇒事務局)

学校へも開催周知を図り、都合のいい会場へ参加頂くことを想定していたが、参加が難しい曜日・時間帯の設定ではといった指摘であり、全学校を個別に巡回するのは現実的ではないが、対応策として例えば中学生・高校生向けにそれぞれ1日で1箇所の会場を設定するといったことを検討したい。

(小学生～大学生までのどこまでを対象とするのか検討する必要)

○委員

地区毎にポイントを絞って(例えばA地区は都市内分権、B地区は住民投票といったこと)実施するのもいいのでは。

○委員

自治基本条例に最も関係が深くなると思われる町内会への周知に重点を置くべき。
⇒事務局)

例えば事務局が5/12 地区会長会議で開催を周知する予定。

○委員

地域福祉計画の地域懇談会でさえ参加者が少ない状況であり、自治基本条例はもっと少なくなると想定される。そうしたことを踏まえ周知方法については十分に議論する必要。

⇒事務局長)

周知方法や当日の内容について、委員の皆さんが考え意見を出し、しっかり議論をして、市民会議としての結論を出すべきと考える。

○委員

自らの在住地区ではなく、他地区へ参加し意見を出すのは状況的に難しいのでは。開催曜日・時間設定も、土日平日の昼間にやる等、バリエーションがあってもいいのでは。地区割りでの実施だけではなく、若者向けや女性向け、高齢者向けといったような割り方もいいのではないか。

■議長

本日は市民意見広聴実施内容のたたき台を提示した。今後、これをベースに議論しながらも、本日意見として出された開始時期の再考や中・高生向けの実施等のアイデアを事務局に提案頂き、次回会議で議論するかたちとしたい。

⇒事務局長)

事務局がとりまとめといったことではなく、市民会議を運営している委員の皆さんで議論し作り上げまとめていくといったスタンスで進めていくのが市民会議の有り様ではないのか。

⇒事務局)

次回会議の進行の効率化を考慮し、次回開催通知の際に提案様式を添付し記載頂き事前提出といったかたちとしたい。

以上